2 進路に関わる主な行事及び授業

(1) 行事

①進路情報ガイダンス

高等部1、2年生の保護者を対象に実施しています。高等部卒業後の進路状況や進路が決まるまでの流れについて説明します。卒業後の進路選択に役立てられるようにしています。(5月中旬頃実施)

②職場見学

中学部、高等部2年生を対象に、職場見学を実施しています。見学先としては、卒業生が利用している福祉施設や一般事業所等が挙げられます。卒業生を含め社会に出た先輩方が働く姿を見て、卒業後の自分について考える学習の機会です。

③福祉施設説明会

本校全保護者を対象に実施しています。

通学圏の福祉施設等の職員の方に本校へ来ていただき、施設の概要や利用状況等についてお話をいただいています。基本的には、1教室に1施設が入り、各教室にて説明を聞くので、希望する施設の説明を受けることが可能です。進路先を考える上での参考となるよう、小学部の早い段階からの参加を呼びかけています。また、放課後や休日の利用に際しても、大いに参考となる情報を得られる場となっています。(夏季休業中(8月上旬頃)実施)

④職業ガイダンス

高等部1、2年生の一般就労を希望する保護者の方を対象に実施しています。進路指導主事より就職するまでの流れや働くために必要なことについてお話をいたします。(9月下旬頃実施)

⑤進路相談会(企業)

高等部2、3年生で、一般就労を希望する生徒と保護者を対象に実施しています。居住地を管轄する公共職業安定所の担当者と障害者就業・生活支援センターの担当者との個別に相談(一人20分程度)を行います。(夏季休業中(7月下旬頃)実施)

⑥進路相談会(福祉)

高等部3年生で、卒業後に障害福祉サービスの利用を希望する生徒と保護者を対象に実施しています。市町の福祉課の担当者と市町の障害者相談支援センター職員との個別に相談(一人20分程度)を行います。(夏季休業中(7月下旬頃)実施)

⑦校内実習

中学部、高等部生が行っています。中学部では6・10・1月の年3回、1週間となります。期間中は、普段の授業で行っている作業内容を終日実施します。

高等部では、1年生は6・10・1月の年3回、2年生は6月の年1回、2週間にわたって校内実習を行います。所属しているコースや時期、実態に応じて仕事内容が変わります。

社会参加や自立に必要な基礎知識・技能・態度を身につけるとともに、社会生活における余暇利用の方法等について学習をします。

⑧産業現場等における実習（現場実習）

原則として高等部2年生の10月、1月と3年生の6月、10月の計4回実施します。また、必要に応じて高等部3年生の1月に実施することもあります。

一般事業所や福祉施設等、学校を離れ一定期間産業現場等で働く経験をとおして、人間関係への適応及び職業生活、社会生活に必要な知識・技能・態度を身につける機会とします。また、実習をとおして生徒一人一人の適正や課題を把握し、日頃の学習にフィードバックするとともに今後の進路指導の一助とします。

(2) 社会参加・自立を目指す主な学習

学習名	学部	説明	活動場面
日常生活の指導	小 中 高	生活上の場面をとらえ基本的な生活習慣の確立を図り、日常生活の自立を目指す学習をします。	着替え、朝・帰りの会、係活動、身だしなみ、清掃、給食準備・後片付け、挨拶等
生活単元学習	小 中 高	社会生活を送っていく上で必要な知識、技術を実際的な学習場面を多く設定し、学びます。	遠足、買い物学習、校外学習、宿泊学習、クラス紹介、人権教育、調理実習等
作業学習	中 高	作業を中心とした活動をとおして、職業生活及び社会生活の中で必要な基礎的、基本的な知識や技能を身に付けます。また、勤労を重んじる態度と働く力、生活する力を培います。	中：手芸班、リサイクル班 織物班 高：封筒班、紙工班、手芸班、リサイクル班、環境班、農芸班、縫製班、木工班

流通・サービス 体験学習	高	スーパーマーケット、市役所等の職場体験をとおして流通・サービスの各種業務や接客等の知識・技能・態度を学習します。	近隣のスーパーマーケットや福祉センター等
就業体験学習	高	地域の事業所にて仕事を体験することをとおして勤労観や職業観を育成します。	近隣の衣料品販売店、木質ペレット工場

(3) 卒業後の支援について

卒業後3年間、卒業生の進路先を訪問したり、電話やアンケート調査などをしたりしながら様子を把握しています。学校だけでなく、進路先の担当者や関係機関と連携を取り合いながら進めています。アンケートの結果については、必要に応じて進路のたよりやホームページにて紹介いたします。